



“いこまちマーケット部”はじまります！

こだわりのお菓子や生活雑貨を選んだり、挽きたてのコーヒーを片手に会話が弾んだり…。

生駒で暮らす喜びを感じる「マーケット」をみんなで考えながらつくります。

一人ではできなかったことも、部員のみんなどいっしょなら実現するかもしれません。

このまちの日常がちょっと楽しく、心豊かになる空間を企画しましょう。

いこまち マーケット部

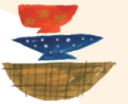


Start

第1回
01

9.3日 10:00-12:00
好きなマーケットを伝え合おう

好きなマーケットを紹介し合いながら、一人ひとりの経験や体験をもとに、マーケットの意義や魅力を考えます。



第2回
02

9.10日 13:00-15:00
マーケットがある日常を考えよう

マーケットの基礎的な知識をインプットしてから、マーケットのある日常の可能性、マーケットを通じて自分が叶えたいことを考えます。

各自で好きな
マーケットに参加



第3回
03

10.1日 13:00-15:00
生駒のマーケットを考えよう

参加したマーケットで感じたことを共有し、これから作るマーケットの理想的なイメージや大切にしたいことを考えます。

第4回
04

10.8日 10:00-12:00
実現に向けて話し合おう

イモ山公園で居心地の良い場所を観察し、マーケットのイメージをふくらませながら、具体的にどのようなマーケットに関わっていきたいかを共有します。

オンラインなどで
打ち合わせを
しながら準備
(約5回)

Goal

マーケット開催@イモ山公園

2024.3.24日



SCHEDULE

INSTRUCTOR

GUIDELINES

REGISTRATION



鈴木 美央 MIO SUZUKI

マーケット研究の第一人者。「このまちにくらすよこび」を地域の人と共につくることをテーマに、公共空間、商店街支援、マーケット、建築意匠設計、親子の居場所、団地などの領域を専門に活動。著書「マーケットでまちを変える～人が集まる公共空間のつくり方～」(学芸出版社)。オープラスアーキテクチャー合同会社代表。



山下 裕子 YUKO YAMASHITA

2014年より、まちなか広場研究所の屋号で個人活動開始。様々な地域のまちなか広場づくりに地元の伴走者的立ち位置で活動を続ける。著書に「にぎわいの場 富山グランドブラザー稼働率100%の公共空間のつくり方」(学芸出版社)



若狭 健作 KENSAKU WAKASA

街の公園、図書館や商店街などの空間に、人々が集い活動するきっかけと仕組みづくりを得意とするプランナー。尼崎市ではフリーマガジン「南部再生」の発行、飲食店「好吃食堂」、古本屋「二号店」の運営などローカルを楽しむ活動も。(株)地域環境計画研究所代表。

- 対象 マーケットをやってみたい人・出店したい人・運営している人
地域で楽しいことをしたい人・地域で友達がほしい人
- 場所 生駒市役所ほか
- 定員 15人程度(抽選制、2歳～就学前の幼児の託児あり)
- 費用 無料

申込はこちら

締切:8月15日火



詳しくはこちら